



杉戸東中だより 『ふなと』

学校教育目標「自学・友愛・鍛錬」

令和5年4月10日



「人皆に 美しき種子あり」

校長 吉川 彦

木々の新緑、美しい草花が春のうららかな日差しに映えています。生きるものすべてに、いのちの息吹みなぎる希望に満ちた季節となりました。

令和5年度は23名の新入生を迎え、杉戸町立東中学校の教育活動がスタートしました。お子様の御入学、御進級おめでとうございます。全校生徒80名の東中生が、これからの学校生活への期待に胸を弾ませています。この期待に応えるよう、東中教職員は今年度も全力で取り組みます。

さて、私は令和5年度当初人事異動により、64年目を迎える歴史と伝統ある東中学校の校長として赴任いたしました、吉川 彦と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

「人皆に 美しき種子あり」は、埼玉にゆかりのある詩人、安積得也さんの「明日」という詩の中の言葉です。子どもたちは様々な可能性の種子を秘めています。そこから咲く花は一つとして同じ形や色のもではなく、花の咲く時期も異なります。しかし、必ず花は咲きます。本日入学した23名の1年生をはじめ、2・3年生の皆さん一人一人が持っている「美しき種子」を、東中学校での日常の取組や様々な行事の中で咲かせてくれると信じています。本校の教職員は、子どもたち一人一人の「美しき種子」を咲かせるために、とことん寄り添い、よさを見つけ、可能性を引き出すための様々な支援や指導に全力で取り組みます。

学校経営にあたっては、「命を守ること」「一人一人に寄り添うこと」「学力向上」を基盤とし、生徒、保護者や地域の皆様の願いを大切に、以下の学校教育目標実現のための教育活動を推進してまいります。

学校教育目標 『自学 友愛 鍛錬』

・自ら意欲的に学ぶ生徒 ・思いやりのある生徒 ・心身を鍛えやり抜く生徒

【目指す学校像】 夢に向かってたくましく生き抜く子どもを育てる学校

- 子どもたちにとって、学ぶこと、仲間といることが楽しい学校
- 家庭・地域にとって安心して子どもたちの教育を託すことができる学校
- 教師にとって、学び合い、高め合える学校

【目指す生徒像】 郷土を愛し、夢に向かって粘り強く努力する生徒

- 自ら学び、未来を切り拓く確かな学力を身に付ける生徒
- 自他の命を大切にし、豊かな人間関係を築ける生徒
- 自ら心身を鍛え、最後まで粘り強くやり抜く生徒

【令和5年度指導の重点】

- 「主体的・対話的で深い学び」の授業実践を軸とした、「生き抜く」ための基礎となる確かな学力を身につけさせる指導
- 「特別の教科 道徳」及び豊かな体験学習を軸とした特別活動の実践により、「生き抜く」ための基礎となる豊かな心を育てる指導
- 健康教育の実践と体力向上の確かな取組により、「生き抜く」ための基礎となる心身の「体(耐力)」を鍛える指導

社会が加速度的に変化し、将来の予測が難しい社会情勢の中、子どもたちが自らの夢の実現のために力強く生き抜いていくための「生きる力」を育むことが、学校の使命であると考えます。その使命を果たすために、学校・家庭・地域が一体となり連携・協働しながら子どもたち一人一人の成長を支えていきたいと存じます。今後とも本校の教育活動への御支援をよろしくお願ひいたします。